

HYBRID LESSONS

オンライン授業とハイブリッド授業について学生に聞きました。

Q1 オンライン授業に対応するためにやったことはなんですか？

- ▶ Wi-Fi環境を整えた
 - ▶ パソコンの購入
 - ▶ 家でもメイクするようになった
 - ▶ 授業の前はスマホの電源を切った
 - ▶ モチベーションを保つため気分を上げるものを購入した
 - ▶ マイクなどの周辺機器を揃えた
 - ▶ カメラで部屋が映るので片付けた
 - ▶ 生活リズムを整えた
 - ▶ 自分専用のWebカメラを購入(先生)
- ※先生によっては、専用のカメラを使用してオンライン授業を行う場合もあります。



Q2 オンライン授業で良かったこと／困ったことや反省点はありますか？

良かったこと

- ▶ 地方の実家でも授業を受けることができた
- ▶ 遅刻や欠席が減った
- ▶ 自宅なので、急な体調の変化にも対応しやすい
- ▶ 交通費が浮いた分他のことにお金を使えた
- ▶ 授業直前まで調べものができる
- ▶ リラックスできる服で授業を受けられた
- ▶ 感染リスクの軽減
- ▶ 時間に余裕ができた
- ▶ 授業後の復習がしやすい

困ったこと・反省点

- ▶ オンライン授業の場合は紙のレジュメの方が見やすかった
- ▶ 科目によっては課題メインになってしまう授業がある
- ▶ 授業とプライベートの気持ちの切り替えが難しかった
- ▶ 緊張感や集中力を保てない
- ▶ モチベーションが上がらない



Q3 オンラインと比べて、ハイブリッドならではのことはありますか？

- ▶ 対面授業の時はオンラインではできないようなディスカッションができるので、大学に行くメリットを感じる
- ▶ 大学に行く機会が増え、大学生の実感が湧いた
- ▶ 周りの人と協力して、授業を受けることができた

※2021年度の内容です。変更になる場合があります。

オンライン授業に対する大学の取り組み



1 多くの教場にWebカメラを設置

ほとんどの教場にwebカメラを設置し、オンライン授業に対応しています。 ※一部の教場、実験室などには設置されておりません。

2 Google Workspace(学習支援ツール)が使える

オンライン授業のリアルタイム配信に使用されるGoogle Meetや質疑応答などに使用できるGoogle Chatなど、オンライン授業をスムーズに受講するためのアプリが使用できます。

就職相談会やビジネスマナー講座など、キャリアセンターでの就職支援にも活用されています。

3 Microsoft 365が使える

課題やレジュメ、プレゼン資料作成に欠かせないWord、Excel、PowerPointなどのアプリケーションを無償でインストールできます。



ハイブリッド 授業のすべて

コロナ禍で始まったオンライン授業。
新しい生活習慣に適應した学びも2年を経過し、対面授業も再開されつつあり、
対面とオンラインを組み合わせる授業も増えた。(2021年12月取材)

APPROACH of NEW NORMAL



経済学部商学科の小西宏美先生の授業では、対面とオンラインをワンセットで行っている。一回目はオンラインで、先生による解説の後に小テストを行い、二回目には同じ講義テーマでグループワークや質疑応答を行う。

「自分一人でテーマに対して調べても良いんですが、せっかく対面なので周りの友達と相談して調べてもらうように声をかけています」という小西先生。先生の授業では一年以上もオンラインが続く、対面が一部再開したのは2021年に入ってから。前期は学生側でオンラインか対面かを選べる形式だったこともあり、学生が対面授業を選ぶメリットについて考えたそう。オンライン授業が充実して

形式的授業になっています」
大学は、やはり人と出会い、「コミュニケーションを取ることがとても大事な場だ」という小西先生。

ハイブリッドに移行する中で授業に対する学生から意見や要望などはあったのだろうか。
「講義の形式の授業の場合、多くの学生がいる授業ではなかなか個別の意見というのは授業アンケートでしか出てこないものでした。私のゼミの学生と話した時には、多くの授業がオンラインのため、なかなか友達ができづらいという声を聞きました。今、対面になって初めて同じ授業を履修している同級生の顔を知ったり、逆に知っている学生が同じ授業を

いたからこそ、対面になった時にもっと付加価値をつける必要があった。
「対面の時はやはり対面でしかできないことや先生と学生が双方で行えるような授業である必要があると思います。例えば、グループワークとまではいかなくとも、周囲と相談しながら課題をするというような学生間での交流は、授業に必要な流れは、授業に必要な思いに至り、今のよう

取っていたことを知ったりというのはあったようです」
オンライン授業のメリットとして、大きい教場でやるような授業の場合にはなかなか手を挙げて発言することに抵抗があった学生も、チャットなら積極的に意見を出しやすいというのには確かにあったようだ。対面になり、マイクを向けてすぐ反応できる学生ばかりではないが、そんな時は少しヒントを出すことで答えに結びつくようになるという。その場で学生にアプローチできるのも、対面ならではの良さなのではないだろうか。



経済学部 商学科
小西 宏美 先生
専門は「多国籍企業とグローバル・ファイナンス」。「グローバル資金管理と直接投資」(日本経済評論社)などの著書を持つ。